

施工説明書

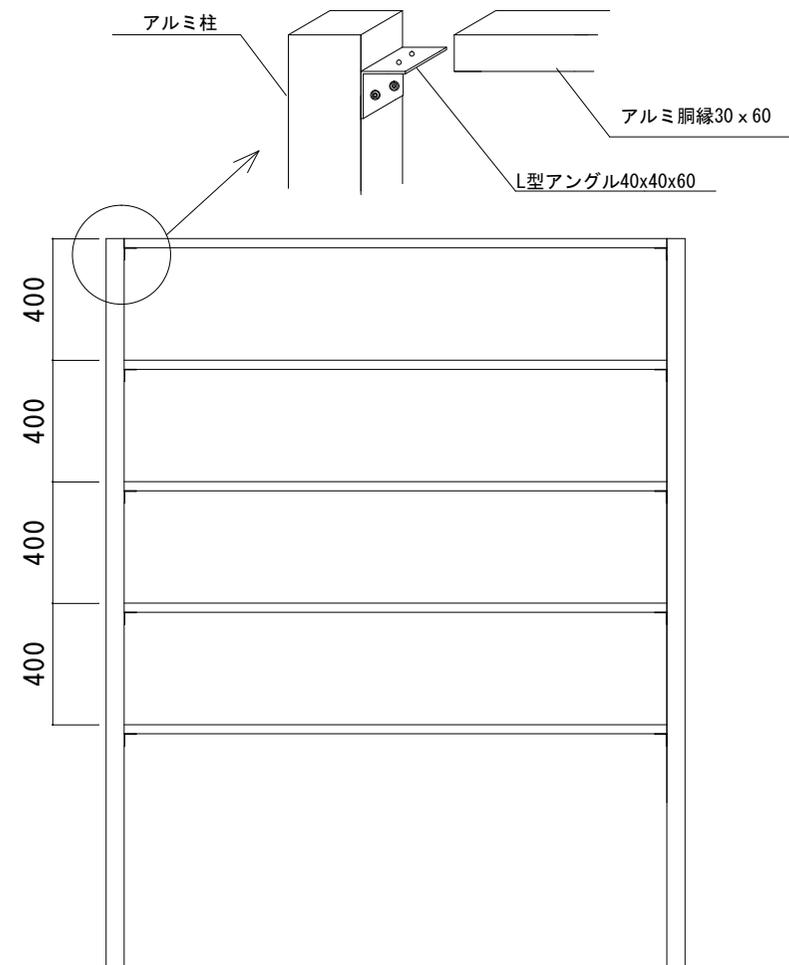
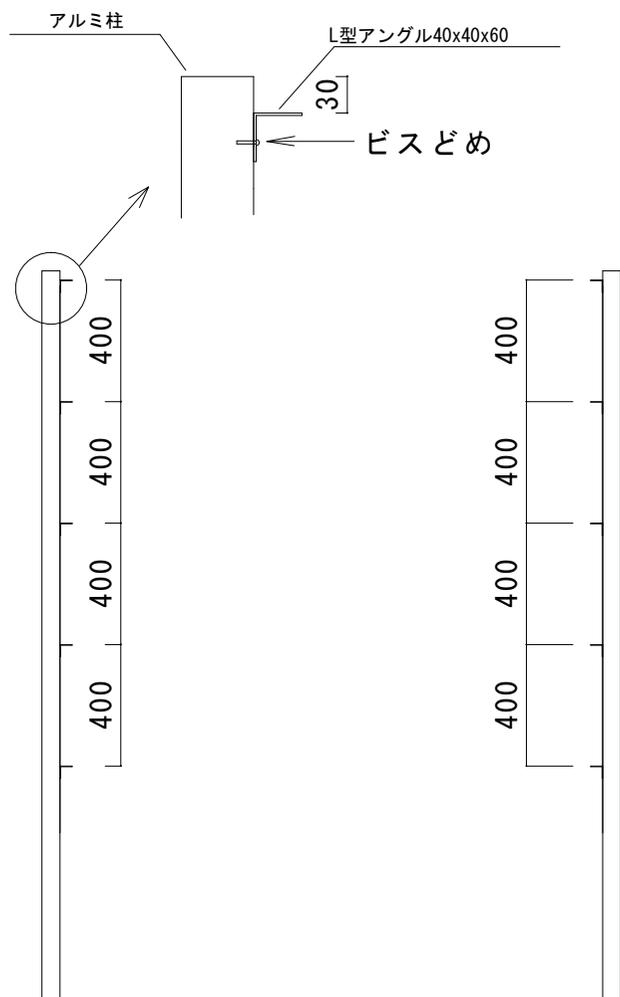
建仁寺垣 柱を見せないタイプ

H=1800の場合（茶竹仕様の場合、ビスはすべて茶色を使用します）

株式会社エクスタイル

施工に関するお問合せは

TEL 0776-38-2533



① アルミ柱にL型アングルを取り付ける。

アルミ柱の上面から30mmさがった所にL型アングルを取り付けます。H=1800の場合、

標準5胴縁ですので柱の片側に5個のL型アングルをビスどめします。

(H=600は胴縁2段、H=900・1200は胴縁3段、H=1500は胴縁4段になります。)

※4×16(茶)ビス使用

② L型アングルにアルミ胴縁30×60を取り付ける。

L型アングル1個につき2本のビスで胴縁をとめます。

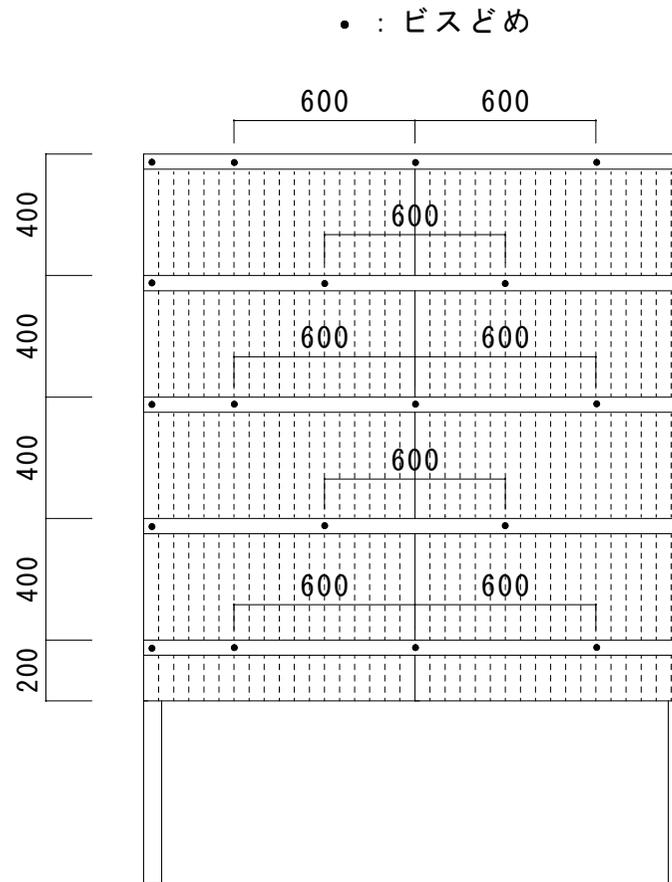
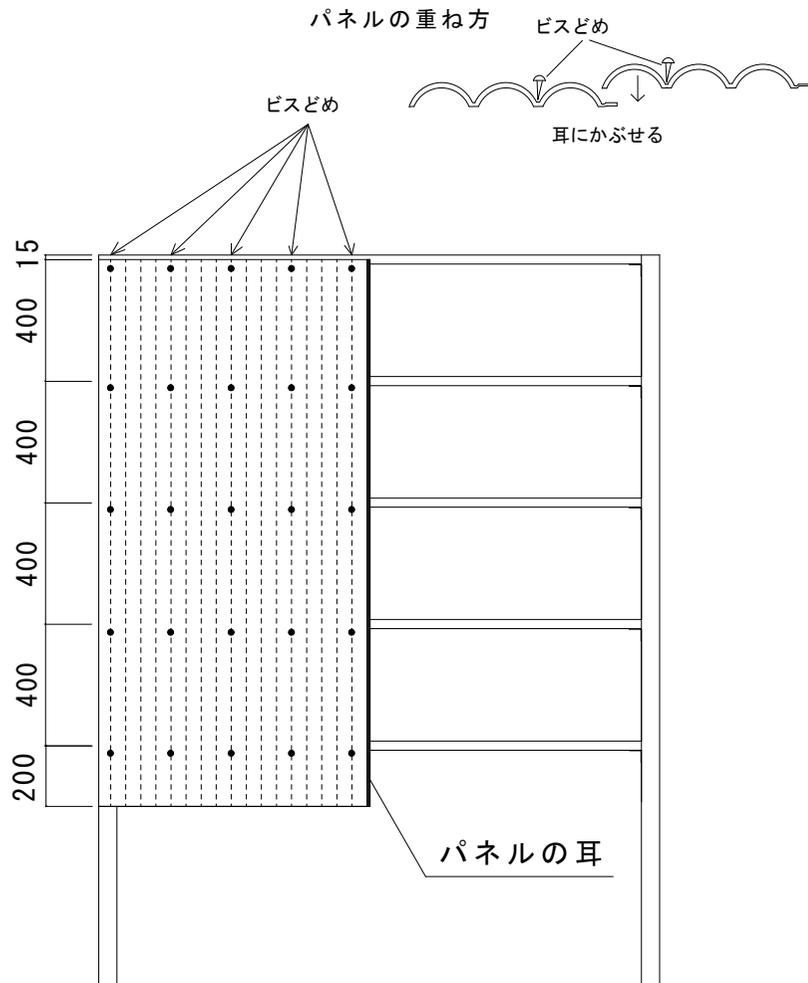
※4×16(茶)ビス使用

注：アルミ胴縁と柱の間に隙間が出来ないようにビスどめして下さい。

施工説明書

建仁寺垣 柱を見せないタイプ H1800の場合 (茶竹仕様の場合、ビスはすべて茶色を使用します)

株式会社エクスタイル
施工に関するお問合せは
TEL 0776-38-2533



③ アルミ胴縁に建仁寺パネルを取り付ける。

図のように、左側からパネルを取り付ける場合、パネルの耳が右側に来るように取り付けます。アルミ胴縁の上面から15mm下げてビスどめして下さい。裏側も同じ様に15mm下げてパネルを取り付けて下さい。2枚目のパネルの耳はカッターナイフで切り落としてから取り付けてください。ビスどめの位置は横一列に5ヶ所が標準です。

パネル1枚につき、4x16(黄)ビスを25本使用します。

※4x16(黄)ビス使用

④ 割竹50を取り付ける

パネルの上から割竹50をビスどめします。ビスの位置は600mm間隔が標準です。

両面の場合は裏側も同じように割竹50を取り付けて下さい。

※4x40(黄)ビス使用

注：割竹50の両端は、必ずビスどめして下さい。

施工説明書

建仁寺垣 柱を見せないタイプ

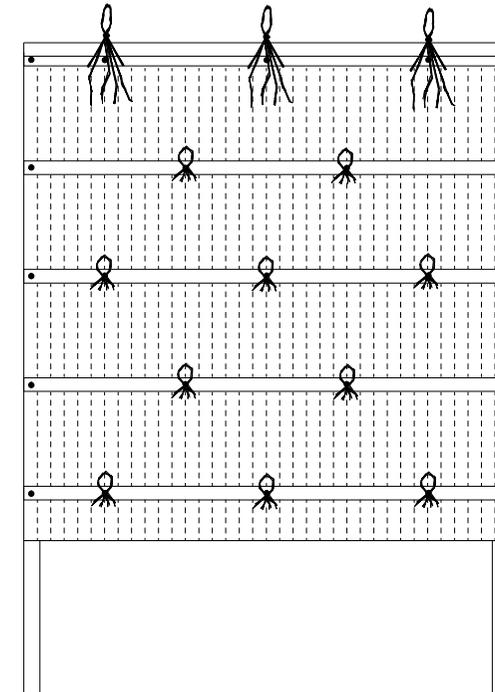
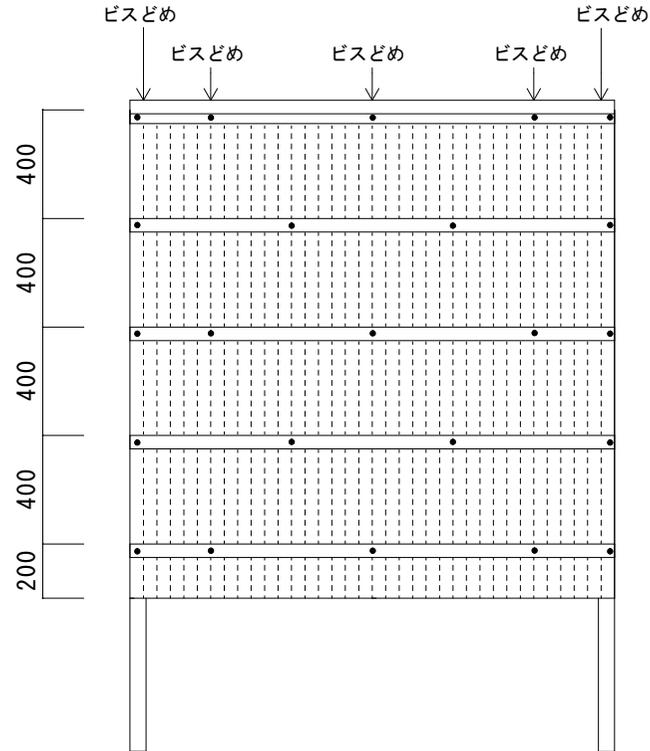
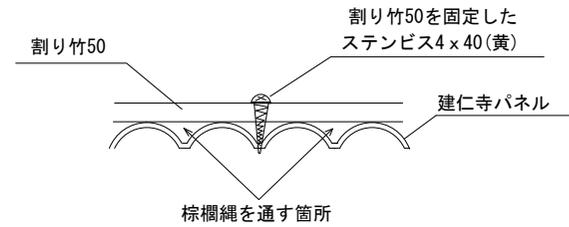
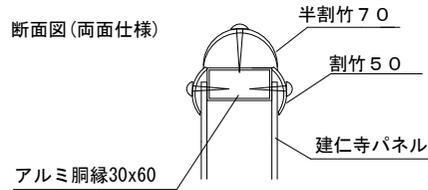
H=1800の場合（茶竹仕様の場合、ビスはすべて茶色を使用します）

株式会社エクスタイル

施工に関するお問合せは

TEL 0776-38-2533

断面図（両面仕様）



⑤ 最上部に半割竹70を取り付ける

ビスどめ位置は、最上部の割竹50のビスどめ位置と同じ位置です。

下穴をあけてからビスどめします。

※4×50(黄)ビス使用

⑥ 人工棕櫚縄で縛る

割竹50を固定したビスの上から化粧結びをします。

最上部はパネルに8mmほどの穴をあけ、その穴に棕櫚縄を通して結びます。

人工棕櫚縄の切り口は、バーナー等で少し熱を加えるとほづれが防止できます。

最後に柱キャップをして完成です。

※棕櫚縄の結び方は、別紙参照